

3 学校教育との連携・協力

ふれあい自然体験活動推進事業

不登校等の児童生徒を含む異年齢の小・中学生を対象に、長期の自然体験や共同生活体験を通して、たくましさや自立心、思いやりと責任感などを培い、自主性、社会性の育成を図りながら、不登校等の児童生徒の学校生活への適応や復帰を支援するモデル事業として実施した。

ア ふれあい自然体験キャンプ

実施場所		阿南少年自然の家	
期日		8月7日(火)～8月11日(土)	
参加者	小・中学生 (不登校や悩みを抱える等の児童生徒数)	小学生	43人(3人 7.0%)
		中学生	4人(1人 25.0%)
	ボランティアスタッフ	31人(信大11、県短大13、長野大7)	
主な活動内容		仲間作りゲーム 野外炊飯 キャンプファイアー 川遊び キャンドルのつどい等	

イ 不登校児童生徒事後調査結果

項目		阿南少年自然の家
調査対象者数		4人
回答者数		3人
回答内容	再登校 (断続登校を含む)	0人 (0%)
	改善傾向あり	2人 (66.6%)
	変化なし	1人 (33.3%)

()は回答者数に対する割合